

防災ラジオ



耐久年数を過ぎた防災行政無線の代わりに、新たに「防災ラジオ」を配備するという計画は、平成29年3月定例会で審議されました。3月定例会では、市長所信において表明され、予算が可決されたことに基づき、5月頃までに公共施設や避難所に200台を配備を完了することが決定しました。今年度は、備中地域と成羽地域管内を対象として6月から申し込みの受付がされ、ラジオ本体は無償貸与、保証料もいただかない形で11月6日から成羽・備中地域局を窓口として、配布が始まりました。

防災ラジオの配布状況

	備中地域	成羽地域
対象世帯 (5/31)	997世帯	1,957世帯
申し込み世帯 (~10/10)	767世帯 (76.9%)	734世帯 (37.5%)
引き取り世帯 (12/28)	710世帯	627世帯

成羽・備中地域においては12月1日から本格運用が開始されています。防災無線が運用されていた備中地域においては、現在まで運用されていた防災行政無線が廃止になるため、行政サービスの低下につながるよう、午前6時30分と午後8時に定時放送が流れます。お悔やみ、出生、各コミュニケーション行事等の放送が午後8時10分から380字以内で配信されています。将来的には、平成30年度に高梁地域、平成31年度に有漢地域・川上地域でも導入される予定となっています。なお、成羽・備中地域で今回申し込みができなかった世帯に対しては、来年度の申込受付がされるということです。

編集後記

平成29年も押し詰まった中、議会広報公聴特別委員会では「議会だより」2月号のための原稿作りに追われています。12月定例市議会では定住、子育て、教育問題などさまざまな質問が各議員よりなされ、執行部との活発な論議が展開されました。いま市民の皆さんが一番関心を持たれている問題は1億円の未払金の問題だろうと思います。現在この問題は地方自治法第100条によって議会の中に調査特別委員会が組織され、問題の原因究明に当たっています。調査特別委員会の調査報告を待って「高梁市議会だより」でも、できるだけ市民の皆様に分かりやすい形でお伝えできればと思っています。議会広報公聴特別委員会ではできるだけ市民の皆さんと同じ目線で問題に取り組んでいこうと思っていますので、ご意見、要望などお聞かせくださるようお願い致します。(森上昌生)

編集

- 議会広報公聴特別委員会
- 委員長 宮田好夫
 - 副委員長 石田芳生
 - 委員 石部 誠
 - 委員 石井聡美
 - 委員 森上昌生
 - 委員 森 和之
 - 委員 伊藤泰樹